

むらやま・学校統合だより〈GO TO TO-GO〉

第9号



編集・発行
村山市教育委員会
学校統合推進室

統合 タイムズ

市の学校再編・準備は着々と

～統合校開校まで、西部地区はあと2年/東部地区はあと3年～

【優先順位ファースト(1stプライオリティ)】を考慮しながら準備を進めています

ふりかえり

TOP INFORMATION (Topics) = 「統合準備・レビュー号」

西部(葉山中学校区)



現在の葉山中学校校舎を活用し、リノベーション型の改修を行い、小中一貫の義務教育学校に再編

小中9年制の「義務教育学校」
名称は「葉山学園」に決定済
開校は、2年後の令和10年4月

▶令和6年5月に出された「村山市学校統合基本計画」では、令和10年4月に、現在の葉山中学校校舎を改修したうえで、大久保小・富本小・戸沢小・富並小、そして葉山中の5校が「義務教育学校」として統合する内容で策定されました。これを受け、同6年7月、西部地区の「統合準備委員会」が発足し、村山市初の義務教育学校の開校に向け、様々な準備が進められています。

東部(楯岡中学校区)



現在の楯岡小学校校舎に統合(必要な施設整備や改修等は実施)し、「従来型小学校」として再編

小中連携型の「統合小学校」
名称は、現在 検討中
開校は、3年後の令和11年4月

▶東部地区は、楯岡小・西郷小・袖崎小の3校が、令和11年4月に、現在の楯岡小学校校舎に統合することとなりました。(「統合基本計画」)東部地区の「統合準備委員会」は、西部地区の1年後の令和7年5月に発足し、統合小学校のスムーズな開校に向け、準備を着々と進めています。なお、新しい「学校名」は、アンケート調査等を経て、現在、審議中です。

統成人語

▼食べる順番として「ベジ・ファースト」(野菜を先に食べる)ということを実践している人も多いのではないかと。しかし新常識では、単に野菜を先にというよりも、炭水化物(カーボ)を最後に食べる「カーボ・ラスト」が推奨されているという。厚労省の「日本人の食事摂取基準(二〇二五版)」から「ベジ・ファースト」の記述が既に削除されたようだ▼さて、今「健康界限」では「血糖値スパイク」(食後血糖値の急上昇・急降下)に強い関心が集まっている。血糖値の急激な上下は、血管にダメージを与え、糖尿病や動脈硬化リスクを格段に高めるらしい。血管は生命維持のカナメ▼「よりよく生きる」ためには、食と健康はきわめて重要な要素である。その知識は、学校教育で得たものをベースとするが、日進月歩な分野だけに、社会に出てからも、常時アップデートするリカレント学習が必要である▼「食育基本法」が法制化され、学校で「食育」が本格導入され二十年になる。健康とは密接不可分の食。ウエルネスはウエルカム(よく噛む)と関連し、歯も大切な。古来「薬食同源、食養生」ともいうが《食》を大切にする「食ファースト」の重要性は、きつと永劫揺るがない。

■ 村山市の小学校等統合再編に向けた動き(レビュー) ■

よりよい教育が受けられるように【学校の適正規模・適正配置・よりよい教育環境整備】

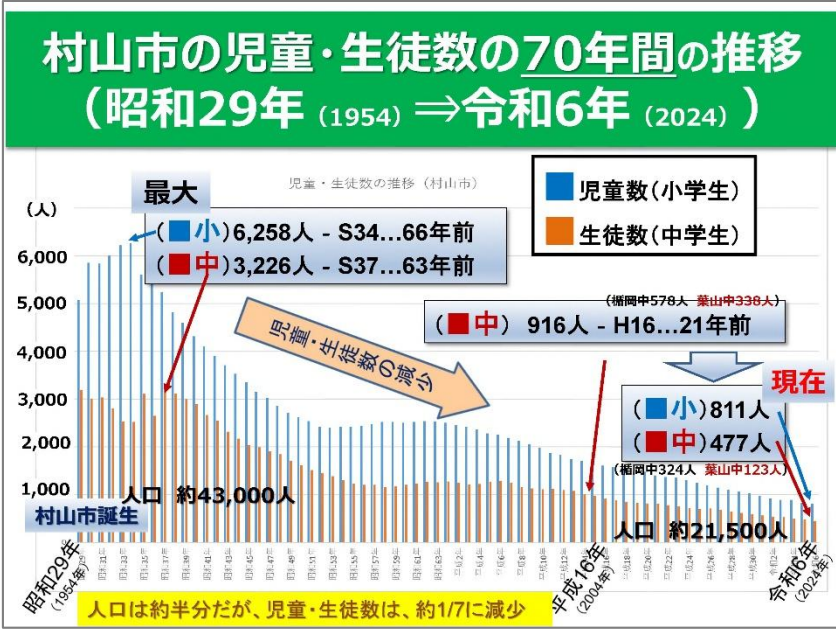
全国的に児童生徒数が減少し、学校再編が進んでいますが、村山市においても、昭和29年の市制施行以来、数年間は人口が増加しましたが、その後は、人口が減少に転じ、それに伴い、児童生徒数も減少傾向となりました。

中学校は、市合併当初は、山ノ内中学校を含め7校ありましたが、平成16～17年にかけて、市の西部・東部の各1校に再編され現在に至ります。

小学校は、市制発足以来、基本的に旧町村（8地域）に1校が配置され、これまでできました。しかしながら、児童数の減少に伴い、複式学級などが増えてきたことから、適正規模や配置を検討するとともに、将来に向け、望ましい学校の在り方を検討してきました。その結果、令和10年に西部地区の小中学校全校が統合し「義務教育学校」に再編、東部地区は、3校の小学校が令和11年に統合再編することとなったものです。

村山市・村山市教育委員会では、子どもたちが、よりよい教育環境のもとで教育を受け、学校生活が送れるように、そしてまた、村山市で教育を受けたことを誇りに思えるよう、今後も、市としてベストを尽くし、統合に向けたさまざまな準備を進めてまいります。

その結果、村山市では、3年後の令和11年度には、**小学校1校、中学校1校、義務教育学校1校の3校体制**となる予定です。



〔図〕村山市の発足を起点とした児童・生徒数の推移を表わすグラフ

【表】村山市の学校統合・再編にかかる主な動き（市制発足以来）

No.	年度	(西暦)	項 目 (主な動き)	備 考
1	昭和29年	(1954)	9小学校7中学校でスタート	昭和29年11月～30年1月：村山市発足
2	昭和34年	(1959)	富並中と山ノ内中が統合し「大高根中」発足	
3	平成16年	(2004)	東西の統合中が発足(新葉山中(H16)/新橋岡中(H17))	数年前より統合に向け協議（3校案→結果2校案に）
4	平成20年	(2011)	山ノ内小学校が富並小学校に統合	
5	平成23年	(2008)	「小学校の適正規模・配置基本方針」策定	(8月) 第1期適正配置計画(H23-27)
6	平成26年	(2014)	大倉小学校が橋岡小学校に統合	
7	平成28年	(2016)	「小学校の適正規模・配置基本方針」策定	(5月) 第2期適正配置計画(H28-R2)
8	令和2年	(2020)	小学校適正配置検討（将来の小学校の在り方に関する検討委員会：全7回）	R元年12月：諮問→R3年2月：答申（4つの柱）
9	令和3年	(2021)	市小中未来スクール構想会議（全5回）	座長：山形大学出口副学長
10	令和5年	(2023)	小学校適正配置計画策定委員会（全9回）諮問→答申	全体会・視察等も実施/計画の柱（3本柱）
11	令和6年	(2024)	統合準備委員会発足（西部R6年7月）（東部R7年5月）	西部：R10年統合/東部：R11年統合

※上記のNo.8以降が、今般の統合計画に直接関係しています。令和6年以降、準備委員会を設置し、市民委員も交えながら、広く意見を募るなどオープンな議論を心掛け、統合に向けさまざまな準備を進めています。